

農業委員会だより

いしおか

第14号

令和2年12月

— 編集発行 —

石岡市農業委員会

石岡市柿岡5680-1

TEL 0299-43-1111

FAX 0299-43-6732

✉ nouiinkai@city.ishioka.lg.jp

TOPIC

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します!!



収穫したえごまの実をふるいにかけて選別します

えごまの収穫 (小桜地区・半田地内)

主な内容

- 会長あいさつ2
- 農地のことは、農業委員・農地利用最適化推進委員
(推進委員)にご相談ください2
- 農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します3
- 農業者年金に加入しませんか 他4

表紙の写真

遊休農地の解消対策として、えごまの栽培をしています。搾取されたえごま油は、生活習慣病などを予防する効果が期待できるとして、近年注目されています。



会長あいさつ

石岡市農業委員会
会長 高野 正

日頃より、農業委員会の活動に対し、地域の皆様及び関係機関におかれましては、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

近年の農業情勢は、担い手の高齢化や後継者不足に伴う遊休農地の増加など、厳しい環境におかれています。また、新型コロナウイルス感染拡大による大規模な活動の自粛や、学校の一斉休校などで、農産物の需要が激減し、農業経営にも大きな影響を及ぼしました。

このような中、政府は本年3月に「新たな食料・農業・農村基本計画」を閣議決定しました。その計画において、担い手の育成・確保や農地の集積・集約化を進めるとともに、規模の大小や中山間地域といった条件にかかわらず、農業経営の底上げにつながる対策を講じ、幅広く生産基盤の強化を図ることとしております。

本市農業委員会におきましても、地域農業の実態を的確に把握し「担い手への農地の集積・集約化」「遊休農地の発生防止・解消」「新規参入の促進」など、農地利用の最適化を積極的に推進していく所存でございます。

今後とも、農業委員・農地利用最適化推進委員は、地域農業者の代表として、各関係機関と連携のもと、農業振興に努めて参ります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

農地のごことは、農業委員・農地利用最適化推進委員（推進委員）にご相談ください！

農業委員、農地利用最適化推進委員は、農業者の代表として地域に根ざした活動を進めています。農地等に関するごことは、お近くの委員にお気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。

| 担当区域 | 職名 | 氏名 |
|------|------|-------|
| 石岡地区 | 農業委員 | 高野 正 |
| | | 栗原 茂 |
| | 推進委員 | 高野 済 |
| | | 前島 慎也 |
| 三村地区 | 農業委員 | 山口 亨 |
| | 推進委員 | 山口 和明 |
| 高浜地区 | 農業委員 | 浅野 良一 |
| | 推進委員 | 飯村 一夫 |
| 関川地区 | 農業委員 | 小坂部 進 |
| | 推進委員 | 鈴木 泰幸 |



| 担当区域 | 職名 | 氏名 |
|------|------|---------------|
| 柿岡地区 | 農業委員 | 磯部 進 |
| | 推進委員 | 茂垣 雅二 |
| 小幡地区 | 農業委員 | 中嶋 道三 |
| | 推進委員 | 鈴木 信一 |
| 葦穂地区 | 農業委員 | 高田 まり子 |
| | 推進委員 | 本岡 孝 |
| 瓦会地区 | 農業委員 | 小松 與平 |
| | 推進委員 | 宮部 誠 |
| 恋瀬地区 | 農業委員 | 池田 徹 |
| | 推進委員 | 富田 雅史 |
| 園部地区 | 農業委員 | 友部 敏英 |
| | | 花和 清治 |
| | 推進委員 | 久保田佳男 高橋 浩 |
| 林地区 | 農業委員 | 欠 員 |
| | 推進委員 | 飯村 伸一 |
| 小桜地区 | 農業委員 | 田上 光男 |
| | 推進委員 | 原田 文普 |

農地の賃借料情報

平成31年1月から令和元年12月までに、締結(公告)された石岡市の賃借料水準(10アールあたり)は、下表のとおりです。農地の賃貸借契約の際には、あくまで目安として活用ください。貸し手と借り手が話し合い、お互い納得できる額で決定してください。(※ハス田は除く)

| 田 | 区域 | 平均額 | データ数 |
|---|------|---------|------|
| | 石岡市内 | 16,000円 | 133 |

| 畑 | 区域 | 平均額 | データ数 |
|---|------|--------|------|
| | 石岡市内 | 7,900円 | 86 |

こんな時は農業委員会です！

- ◆農地の所有権移転をしたい
- ◆農地以外(住宅・資材置場など)に転用したい
- ◆農地の貸し借り・解約をしたい
- ◆農地を相続した

ほか、農地に関する手続きは、農業委員会へご相談ください。

※各種手続きに関する書類は、農業委員会窓口または、市ホームページからもダウンロードできます。

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了（令和3年7月19日）に伴い、次のとおり募集します。

| | 農 業 委 員 | 農地利用最適化推進委員 |
|-------------|--|--|
| 応募資格 | 農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者 | 農地等の利用の最適化推進に熱意と識見を有し、その職務を適切に行うことができる者 |
| 募集人数 | 14人 | 14人 |
| 応募方法 | 自ら応募、または推薦による。 既定の様式に必要書類を添えて農業委員会事務局に、候補者本人が提出してください。 ※様式は、農業委員会事務局または市ホームページから取得してください。 | |
| 募集期間 | 令和3年1月12日（火）～令和3年2月12（金） | |
| 選任方法 | 候補者を選考のうえ、議会の同意を得て市長が任命します。 ※但し、法律の規定等により、次の要件に基づき選考します。 ①認定農業者が過半数を占めること。 ②農業委員会の所掌する事項について利害の無い人を含むこと。（農業者以外） ③年齢・性別等に著しい偏りが生じないように配慮すること。 | 候補者を選考のうえ、農業委員会が委嘱します。 |
| 職務内容 | 農地法等に基づいた農地の利用関係の調整を行う ①農地の権利移動等の申請の許可、決定等の審査 ②農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の発生防止・解消の推進、担い手への農地集積・集約化の推進、新規就農を支援するための活動 ③農地中間管理機構との連携 | 農業委員と連携し、担当する区域の農地利用の最適化の推進活動を行う ①農地利用最適化推進委員としての意見提出 ②遊休農地の発生防止・解消に向けた農地パトロールや、農地所有者等への働きかけ ③担い手への農地集積・集約化を推進するため、農地の貸し手や借り手の掘り起し活動 ④農地中間管理機構との連携 |
| 任 期 | 令和3年7月20日～令和6年7月19日 | 委嘱日～令和6年7月19日 |
| 報 酬 | 月額 47,000円 | 月額 39,000円 |
| 申 込 み 問 合 せ | 石岡市農業委員会事務局（八郷総合支所3階） 〒315-0195 石岡市柿岡5680番地1 TEL0299（43）1111 | |

【ご注意ください!! 悪徳業者が、あなたの農地を狙っています】

～農家の皆様へ～ 農地改良や産業廃棄物処分などに伴う悪徳行為が目立っています!!

「農地改良（土盛り・埋め立て）を無料で行う。」「使わない農地を借りたい。」「謝礼を払う。」など甘い言葉を信じると、無許可による違法残土埋め立てや産業廃棄物などを捨てられ、農地として利用できなくなることはもちろん、近隣地域に被害が及ぶなど予想もしなかったトラブルになります。

これらの責任や、撤去費用の負担は、違法行為者はもちろん土地所有者にも及ぶことがあります。

手遅れにならないように、農地の提供依頼があった場合は、必ず農業委員会に相談してください。



豊かな老後に備えて

国が支える

積立方式
で安心

農業者年金に加入しませんか！

◎次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

- ①20歳以上60歳未満
- ②国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
- ③年間60日以上農業に従事



【農業者年金の特徴】

- ◆少子高齢化に強い年金です
- ◆支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります
- ◆保険料の額は自由に決められます(月額2万円～6万7千円)
- ◆国から国庫補助を受けられる加入区分もあります

【問合せ】
農業委員会事務局
TEL 43-1111

農業者年金受給者の皆様へ ～現況届について～

現況届の用紙は、毎年5月末までに、農業者年金基金から受給者に直接郵送されますので、必要事項を記入の上、必ず6月末日までに農業委員会に提出してください。現況届を提出しないと、11月以降の農業者年金の支払いが差し止めになりますので、期限内の提出をお願いします。

編集後記

いつもご愛読いただきありがとうございます。今年には、コロナウイルス感染症拡大により、行動の制限や緊張で不安な日々を過ごしています。外食から家で食事が多くなり、地元農産物を使って料理をする機会が増えました。石岡で生産された農産物は、石岡で消費する「地産・地消」で、地域農業を元気にしたいものです。一日も早くコロナウイルス感染症が終息し、元の生活に戻れることを祈っています。

編集委員

磯部 進
小松 與平
小坂部 進
山口 亨

農業の今を伝える全国農業新聞

全国農業新聞は、地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークを活用して発行する専門紙です。農業情報をわかりやすくお伝えします。

- 毎週金曜発行
- 購読料 1ヵ月700円(税込)



【申込み・問合せ】
農業委員会事務局
TEL 43-1111